



認定看護師レター

2015年12月7日発行Vol. 31 担当：摂食・嚥下障害看護認定看護師 原 久美子

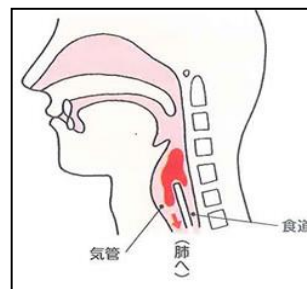
今回は、**不顕性誤嚥**についてお知らせします

不顕性誤嚥とは、**気管内に水分や食べ物が侵入しても咳やむせがない誤嚥のこと**です。絶食中の患者さんの場合は口腔内の唾液や痰等の分泌物で、また、食事を摂取されている患者さんは咽頭に食べ物が残留し気管に侵入することで不顕性誤嚥が occurs。誤嚥と違い、咳き込みやむせといった目にみえる症状がないため見逃しやすくなっています。今回は、早期発見を目的に不顕性誤嚥についてお知らせします。

不顕性誤嚥の症状と対策について

<症状>

- 微熱が持続する
- いつも痰が咽頭でゴロゴロしている
- 食後に痰が絡んだような声（湿性嚔声）
食事前後で患者さんに「アー」と言ってもらい、
声質の変化（痰が絡んだ様な声になっていないか）を観察してください



<対策>

- **複数回嚥下（空嚥下）**
食べ物を一口飲み込んだ後に2～3回唾液で空嚥下をします
- **小さいスプーン（ティースプーン）を使用**
なるべく一口量を少なくし咽頭に食べ物が残留しないようにします
- **口腔ケア**
口腔内の残渣が残らないように行います



患者さんに不顕性誤嚥の症状があり対応に悩む場合は、摂食・嚥下障害看護認定看護師にご相談ください

認定看護師フェアを開催しました（10月26日～10月30日）

10月26日～ 認定看護師の紹介や活動状況について、当院1階外来フロアにポスター展示

10月27日・28日

院内の医療者を対象に、各認定看護師がパネル展示や体験型のブースを設置し、活動を紹介しました

10月29日

- 8:00～15:00 1階外来フロア
患者さんや来訪者を対象に、体験や相談コーナーを行いました
- 18:00～19:30 8階多目的ホール
近隣の病院や施設・訪問看護ステーションなどの医療従事者13名に参加していただき、研修会を開催しました

**** 沢山の方々のご協力を頂き、ありがとうございました ****

